

会 議 記 録 (要旨)

会議名称	令和元年度第1回杉並区 胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会	
日時	令和元年10月28日(月) 午後7時30分～午後9時26分	
場所	杉並保健所 地下1階 講堂	
出席者	委員名	入口陽介会長、中山富雄委員、安部幸一委員、八木美徳委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長、健診係長
欠席者	委員名	一瀬雅夫委員、濱島ちさと委員
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 委員の委嘱 2 杉並区あいさつ 3 委員紹介 4 会長選任及び職務代理選任 5 杉並区からの諮問 6 議題 (1) 杉並区胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会の役割について (2) 令和元年度杉並区胃がん検診(胃内視鏡検査)運営方針について 7 報告 (1) 平成30年度胃内視鏡検査の実施状況について (2) 令和元年度杉並区胃がん検診(胃内視鏡検査)実施希望医療機関の状況について (3) 令和元年度胃内視鏡検査研修会の実施状況について 8 その他 (1) 杉並区医師会アンケート調査結果について (2) 今後のスケジュールについて 	

会議要旨

1 開会

委員の委嘱

2 杉並区あいさつ

3 委員紹介

4 会長選任及び職務代理選任

会長：入口陽介委員、職務代理：中山富雄委員

5 杉並区からの諮問

<諮問文>

杉並区が実施する胃内視鏡検査による胃がん検診の運営に当たり、専門的な知見に基づきより安全で質の高い検診を区民に提供するため、運営方法や精度管理のあり方等について貴審議会のご意見を承りたく諮問します。

6 議題

(1) 杉並区胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会の役割について

○今後、審議会等の役割に沿って審議を進めることとする。

(2) 令和元年度杉並区胃がん検診（胃内視鏡検査）運営方針について

○区胃内視鏡検査の検査医の資格要件について

- ・以下のいずれかの要件を満たす医師とする。

①日本消化器がん検診学会総合認定医、日本消化器がん検診学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医のいずれかの資格を有している医師

②診療、検診に関わらず年間100件以上の胃内視鏡検査を実施している医師

○検査画像の二次読影と撮影方法について

- ・検査画像の二次読影は、外部の二次読影実施機関で読影することとし、見逃しが無いよう撮影方法を統一し、網羅性のある画像により行う。
- ・撮影方法は、外部の二次読影実施機関の指定する方法とする。

○画像評価の対象者について

- ・区胃内視鏡検査に従事する検査医全員を画像評価の対象とする。非常勤の検査医も画像評価の対象とする。
- ・画像形式は原則D I C O M形式とするが、当面はJ P E G形式も認めることとする。

○検査医の技術指導について

- ・検診実施機関に複数名の検査医がいる場合院内において技術指導を行うこととする。
- ・二次読影実施機関においても見学や技術指導を行うこととする。

○洗淨・消毒について

- ・令和元年度は、高水準消毒液を使用し、自動洗淨機による洗淨・消毒を行う。

○機能水の使用について

- ・機能水の導入に当たっては、パラメディカルの担当者等に対して、洗淨消毒に関する研修会を複数回実施し、確実に技能を習得したことを確認する必要がある。
- ・機能水使用の認定基準等については、今後検討する。
- ・認定後も、継続して複数回研修会を実施し、研修会の参加を必須とする。

○偶発症対策について

- ・今後、偶発症対策として、他の医療機関との連携体制は重要なので確認が必要である。
- ・がん検診の保険対応については、検診実施機関に重大な瑕疵があった場合は対象とならないが、重大な瑕疵がない場合は、区が加入している保険の対象になる。また、区の保険は医師会も対象となっている。
- ・本来診療対象の方が検診を希望するケースがあることから、検診対象者に関する区民周知が課題となる。

○研修会の参加について

- ・研修会の参加条件に、「医師の参加を必須」とすることを追加すべきである。
- ・今回の研修会では、ビデオでの内容確認を研修会参加と認めないこととする。
- ・来年度以降は、途中参加の医療機関に対する研修会も検討する。
- ・二次読影実施機関の医師も研修会に参加する。

○二重読影の実施方法について

- ・一次読影は、検診実施機関で行う。
- ・二次読影は、二次読影実施機関の専門医が行う。
- ・検診実施機関には、生検のサンプル画像を配布し、サンプル画像と同様に撮影してもらうこととする。
- ・令和3年度以降、医師会でも二次読影を実施するための読影会の体制づくりを検討

する。

○最終判定について

- ・生検を実施していない場合の判定は、二次判定を最終判定とする。
- ・不要な生検は、出血のリスクを高めるだけなので、不要と思われる場合はコメントに書く。

○追跡調査について

- ・精検の結果、がんが発見された方の追跡調査を行い、その症例検討会を行うことで、検査医のレベルアップを図る必要がある。これは、検討事項とする。
- ・区単独では難しいので東京都と共同できるとよい。

7 報告

(1) 平成30年度胃内視鏡検査の実施状況について

- 年齢によって罹患率が違うので、年齢別のデータで分析するとよい。
- がんが発見された方の追跡調査をし、その結果を検証するのが大事である。
- 早期がんの割合や5年生存率の調査ができると良い。

(2) 令和元年度杉並区胃がん検診（胃内視鏡検査）検診実施希望機関の状況について

- 検診実施希望機関について
 - ・現在、25医療機関が手上げしており、読影体制を変えることで30年度と比較すると増えていくと思われる。

(3) 令和元年度胃内視鏡検査研修会の実施状況について

- 10月17日に1回目を実施し、29医療機関36名の参加があった。11月13日に2回目を予定している。

8 その他

(1) 杉並区医師会アンケート調査結果について

- 杉並区医師会加盟の医療機関に対する胃内視鏡検査アンケート調査を実施し、通常の診療で内視鏡検査を行っていると回答した医療機関が50医療機関であった。

(2) 今後のスケジュールについて

- 画像提出の実施時期は、今後順次提出してもらい、2回目の研修会終了1か月後の12月13日を提出締め切りとし、随時画像点検を実施する。